

# TOTO

## 施工説明書

# 自動水石けん供給栓 オートソープディスプレインサー

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

## 1 安全上の注意

(安全のために必ずお守りください。)

お取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただく、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

<b>表示</b>	<b>意味</b>
	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、人が死にまわったり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。ことを示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	ある、センサーなどの水場での使用禁止の内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

### 警告

	<b>禁止</b>	浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。 故障・感電の原因になります。	
	<b>分解禁止</b>	修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理、改造は行わないでください。 故障・感電の原因になります。	
	<b>禁止</b>	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わないでください。 火災の原因になります。	
	<b>必ず実行</b>	電源コードをコンセントに差し込むときは根元まで十分に差込んでください。 火災の原因になります。	
	<b>禁止</b>	直流電流や異電圧の電源での使用は避けてください。 火災の原因になります。	

### 注意

	<b>禁止</b>	製品に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や漏れの原因になります。	
--	-----------	--	--

## 2 取付け前に

### 1. 配線について

●電圧はAC100V (50 / 60Hz)、消費電力は下記の通りです。  
これに適した配線をしてください。

	液 状	ムース状
1 連	8W	10W
2 連	12W	17W
3 連	16W	25W

### 2. その他

- センサー一面を傷つけないよう十分ご注意ください。
- 本製品は取付け穴φ25、φ26に対応しています。φ35には取付けられません。
- 製品と取付け穴に隙間が発生し、カウンタースペースを漏らすおそれがあります。

## 3 各部のなまえ

<p><b>ディスプレインサー部</b></p>	<p><b>カウンタースペース部</b></p>
<p><b>上補給ユニット部</b></p> <p>※カウンタースペース補給タイプのみ</p>	<p><b>同 粗 品</b></p>

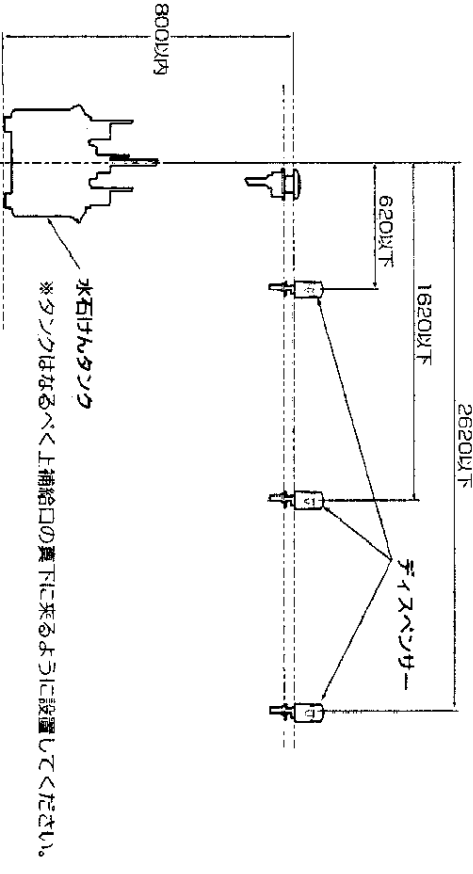
※タンクが露出する場合はタンク固定用ブラケット (TH663) が必要です。

# 4 仕様

製品番号	水石けん吐出			連立数		
	液状	ムース状	1連	2連	3連	3連
TES121	●	—	●	●	●	●
TES122	●	—	●	●	●	●
TES123	—	—	—	—	—	—
TES121M	—	—	●	●	●	●
TES122M	—	—	●	●	●	●
TES123M	—	—	—	—	—	—
TES121H	—	—	●	●	●	●
TES122H	—	—	●	●	●	●
TES123H	—	—	—	—	—	—
TES121MH	—	—	●	●	●	●
TES122MH	—	—	●	●	●	●
TES123MH	—	—	—	—	—	—

タイプ	液状タイプ	ムース状タイプ
電源電圧	AC100V 50/60Hz	—
感知距離	110mm (白紙1300の場合) ※ただし、設置方式による感知距離変化型	—
電源コード長さ	1連 1.3m 2連 2m 3連 2m+1.2m (中継用ケーブル) 2m+2.4m (中継用ケーブル)	—
ケーブル長さ	1連 1.8m 2連 3m 3連 4.2m	—
ケーブル・エフボックコート長さ	1連 3m 2連 4.2m 3連 4.2m	—
吐出量	約3mL/回 ※標準吐出量：水石けん「TOTO石けん液」※必要 ※注：20℃の場合	約2mL/回
吐出時間調節	コントロール内のボリュームにて Q2秒～20秒まで可変	—
タンク容量	約4L (使用可能量)	—

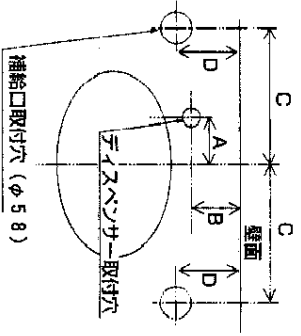
# 6 タンクとディスプレイの位置



# 5 ディスパンサー設置位置

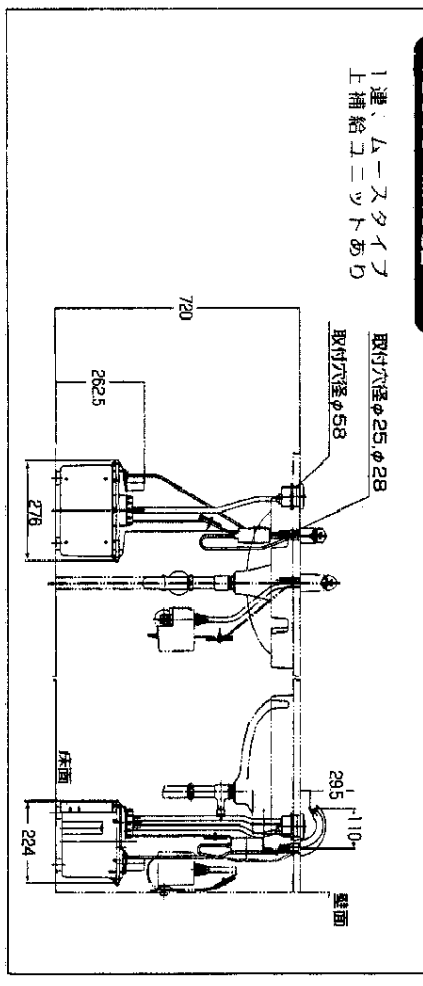
カウンターの穴あけ位置は下記の通りです。

陶器	設置寸法			
	A	B	C	D
L330CFR	—	—	355	130
L331R	—	—	305	130
L507R	—	—	255	130
L517	100	100	185	130
L521CF	—	—	265	130
L525CFRU	—	—	310	130
L537U	100	120	285	130
L546U	130	105	330	130
L548U	110	85	360	130
L580U	180	85	400	130
L582CMS	—	—	345	130
L587U	160	80	405	130
L589CM	—	—	330	130
L830CMRU	—	—	300	110
LU553	160	85	330	130
M928	195	125	345	130



# 7 完成図 (例)

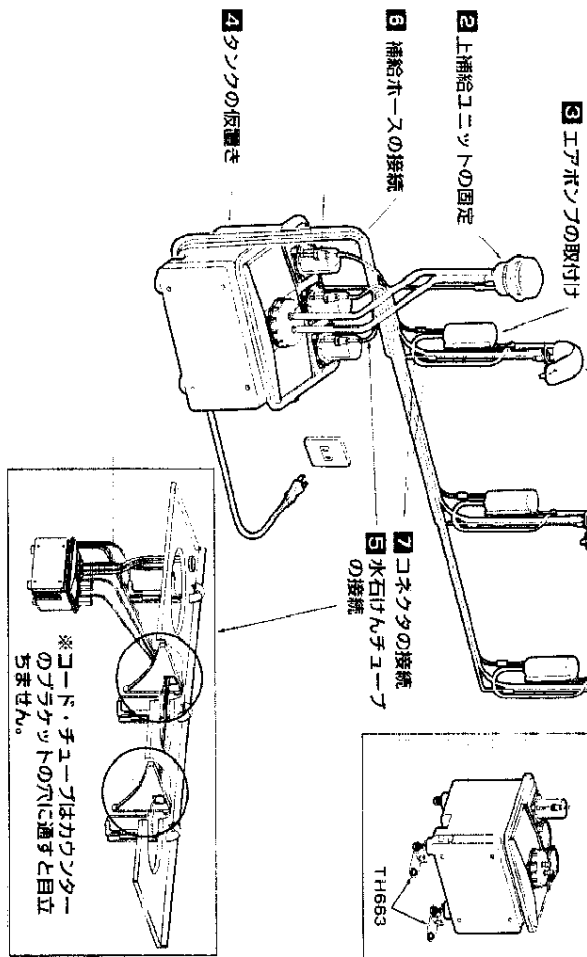
TES121MHの場合



- 排水金具の左側に電温が設置される場合は上補給ユニット、タンクともに排水金具の右側に設置してください。
- 水石けんタンクはカウンター上面より下800mm以内の高さに設置してください。カウンターの設置や階下の設置はできません。
- この範囲を越えて設置すると吐水量が少なくなり、水石けんが泡状にならない(ムースタイプの場合)などの不具合がおきる場合があります。

# 施工手順

## 1 デイスインサナーの仮固定

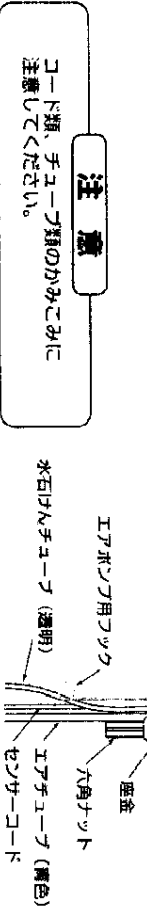


**注意**

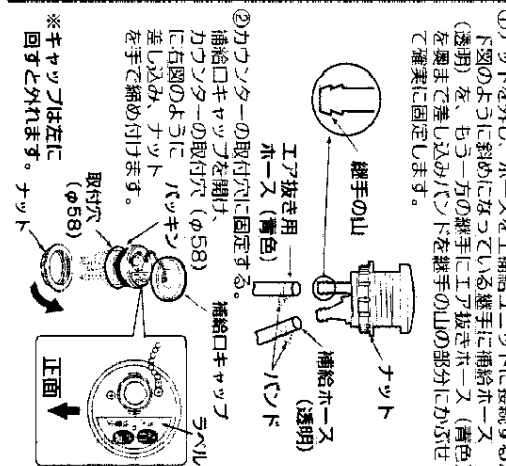
- クリーンドライ (温風乾燥器) などのセットでは、クリーンドライのセンサーヒームが機器内に入らないよう、それを離してセットしてください。
- インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。
- コード・チューブは給湯室に引けないようにしてください。

## 1 デイスインサナーの仮締め

- ① デイスインサナーを機器 (またはカウンタ) に差し込む。
- ② 座金を六角ナットで仮締めする。



## 2 上補給ユニットの固定



**注意**

- ① エアポンプ用フックにエアポンプを引っ掛ける。
- ② エアチューブ (青色) を接続する。

エアポンプ

エアチューブ

エアポンプ用フック

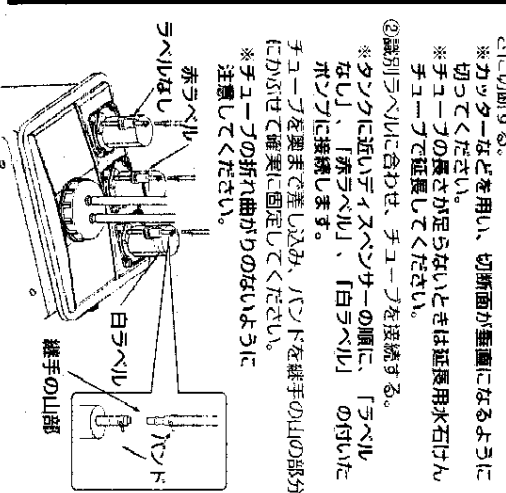
## 4 タンクの仮置き

⑥ タンクとデイスインサナーの位置関係を守って設置してください。

**注意**

なるべく上補給の真下に来るよう設置してください。

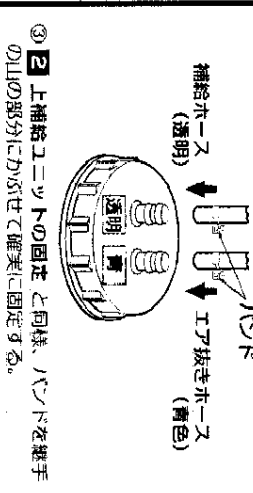
## 5 水石けんチューブの接続



**注意**

- ① ② 上補給ユニットの固定の補給ホース (透明) とエア抜きホース (青色) を適切に長さで切断する。
- 右図のような形になると補給できなくなる場合がありますので、長さを調節してください。
- ※ カッターなどを用い切断面が垂直になるように切ってください。
- ※ 切断後の端面の仕上げにご注意ください。
- ※ ホースは折れ曲がらないようご注意ください。

⑥ 補給ホースをタンクの補給口の「透明」ラベルの継手へ、エア抜きホースを「青」ラベルの継手に接続する。



### 7 コネクタの接続

①上補給ユニット、エアポンプ、センサーコードの  
コネクタを接続する。センサー用コネクタは白色、  
エアポンプ用コネクタは緑色、上補給ユニット用  
コネクタは黒色です。

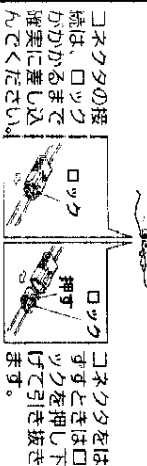
⑤で接続したチューブに対応したコネクタを  
接続してください。

※タンクに近いチイスベンサーの側に、「ラベルなし」  
「赤ラベル」、「白ラベル」となります。



上補給ユニット用 エアポンプ用コネクタ (緑色)  
コネクタ (黒色) ※チイス状タイプのみ

●コネクタの抜き差し要領

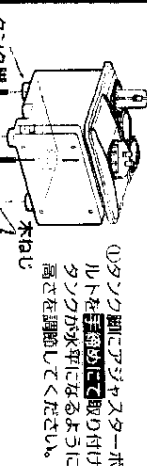


#### 注意

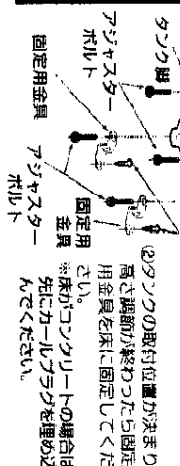
コネクタの接続はロックが確実にかかるまで差し  
込んでください。また抜き差し時に防水用Oリング  
を傷つけないでください。

### 8 タンクの固定

床固定用ブラケット (別売品: TH6 6 3 )  
を使って、タンクを床に固定する。



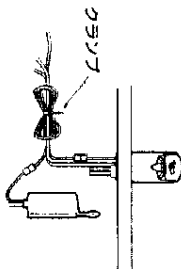
①タンクの脚にアジャスターボ  
ルトを各脚端に2回取り付け、  
タンクが水平になるように  
高さを調整してください。



②タンクの取付位置が床より  
高さ調節が済んだら固定  
用金具を床に固定してくだ  
さい。  
※床がコンクリートの場合は  
先にカールグラブを埋め込  
んでください。

### 9 コード・チューブのまとめ

タンクを使ってコードとチューブをまとめめる。



### 10 電源プラグの差し込み

電源プラグをコンセントに差し込む。

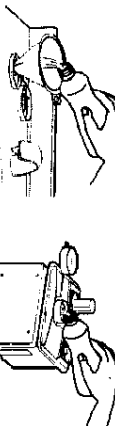
#### 注意

電源が入ると直ちに感知距離を自動設定しま  
すので、センサーに手をかざしたり、陶器内  
に物を置いたりしないでください。  
(約10秒間での動作は完了します。)



### 11 水石けんの補給

タンクに水石けんを補給する。  
※補給方法については取扱説明書 (7~8ページ)  
をご参照ください。



※水石けんはあらかじめ別の容器で希釈した  
ものを補給ください。

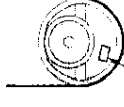
※上補給ユニット・タンクの点滅・センサー内  
ランプの点滅 (1秒間2回) が消えるま  
で補給してください。(約2リットル以上)  
※十分に補給してもセンサー内ランプの点滅  
が消えない場合は「⑫チイスベンサーの固定  
を参照ください。」

### 12 チイスベンサーの固定

センサー内に手をかざしたり、陶器内に物を置いたり  
しない状態で、チイスベンサー先端のセンサー内ラン  
プが点滅して「VAL」ことを確認する。

センサー内  
ランプ

※もしも点滅していれば、チイスベ  
ンサーの向きを少し変え、点滅し  
ないところを確認してください。



点滅は2タイプあります。  
・1秒間に2回点滅: 水石けん残量警告  
・1秒間に8回点滅: センサー警告

#### 注意

陶器の種類によっては、センサー内ランプの  
点滅が消えないことがあります。その場合  
はそのまま設定してください。(ランプの点  
滅は約10分後に消えます。)

※電源を入れて約10分後にランプの点滅は消えます。  
自動消滅するまでにチイスベンサーの向き調整作  
業が完了しなかった場合は、電源プラグを一度抜き、  
差し込み直してください。

### 13 水石けんが出るまで手を 差し出したままにする。

ノズルに手を近づけ、水石けんが出るまで手を動  
かさないとください。

ただし、電源を入れてから3分以上経過している  
場合は再度電源プラグを差し込み直してください。



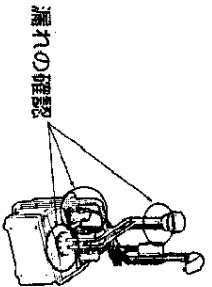
## 9 試運転

### 1. 取付け完了後の確認

取付けが完了した後、次の方法で確認を行ってください。

- ① 水石けんを出す・止める  
ノズルに手を近づけると水石けんが出ます。  
ノズルに手を近づけたままにすると、いったん水石けんは  
止まりますが約2秒後に再度出ます。(最大3回まで)
- ② タンク部・水石けんのチューブ接続部・上補給ユニットの  
ホース接続部から漏れがないか確認する。

※正常に動作しない場合は、「8」 「5 水石けんチューブの接続」から再度ご確認ください。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。